

寄り添い  
続ける



えにし ▶ 70 ◀

PWC Japanグループ（東京）

# 産業再生 専門家が力

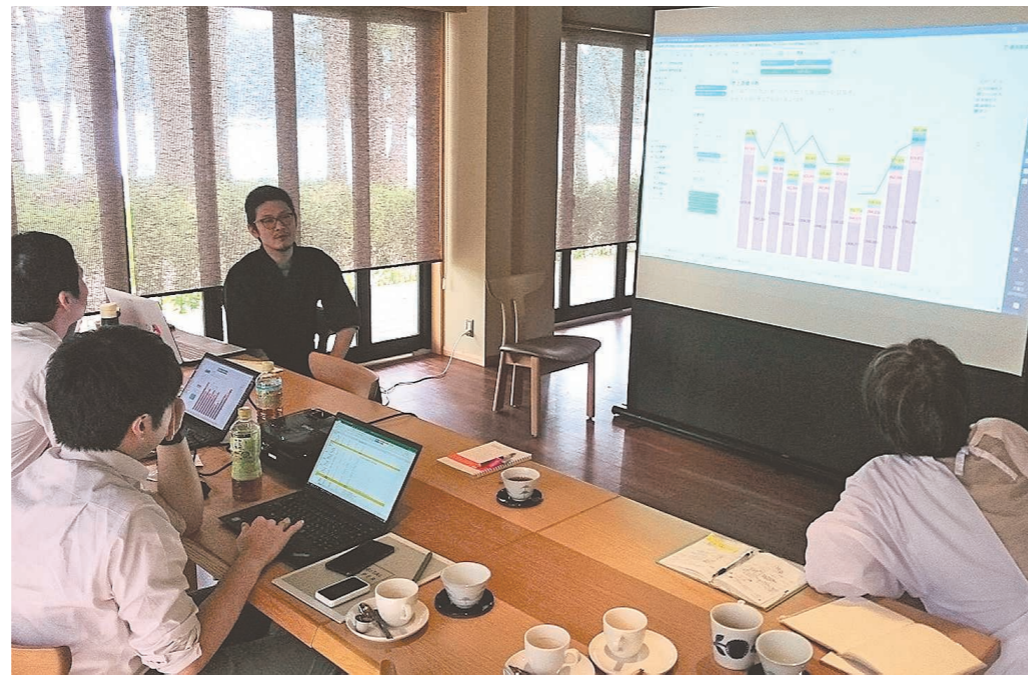
公認会計士、税理士、弁護士、性を生かし被災企業の復興支援  
コンサルタントらを擁する「P」に取り組んでいる。会計から税  
WC Japanグループ（東 務、経営全般と各種相談に無償  
京都、木村浩一郎代表）は専門 で当たるなど産業再生をバック

アップする。 本県では、公認会計士を派遣

する「なんでも会計相談」とコ  
ンサルタントによる「なんでも  
経営相談」を2015年からス  
タートした。会計相談は毎年7  
〜9月に計14人を派遣。社内公  
募で手を挙げた2人一組で事業  
主の個別相談に答える。決して  
押しつけにならないように事業  
主と一緒に現状を見直し、日々  
の収支管理の方法から利益率の  
改善策や資金計画の策定に至る  
まで専門的な観点から回答す  
る。

復興の段階によって支援を進  
めるのも特長の一つ。会計相談  
で経営基盤を整えた後は、成長  
のための経営相談に当たるほ  
か、税務相談や事業承継などの  
課題にも対応する。

今年まで5年間の各種相談件  
数は延べ112件に上る。CS  
R（企業の社会的責任活動）を  
担当する森下幸典PwC Ja  
pan合同会社常務執行役（52）  
は「専門家のバックアップによ  
り資金計画や今後の経営に必要  
なことが判明したことで、事業



釜石市で行われた「なんでも会計相談」。事業主の相談に寄り添い、産業支援を進める＝7月11日

## スキルと経験生かす

「なんでも会計相談」を担  
当するPwCあらた有限責任  
監査法人のパートナー・公認会  
計士梅木典子さん（50）に活動  
への思いを聞いた。

梅木 典子さん

公認会計士

「事業の意義と狙いは。  
PwCは組織の存在意義  
（パーパス）として『社会に  
おける信頼を構築し、重要な  
課題を解決する』と掲げている。  
復興支援のために私たちが  
のスキルや経験を支援に生か



「人材育成面でも大切な取  
り組み。世のためにスキルを  
せると考えた」

生かせるよう頑張ろうと、仕  
事に誇りを感じる機会とな  
る。参加者の社内公募には例  
年、定員の2〜3倍の応募が  
ある」

「被災地の現状をどう捉  
え、今後どのような支援を考  
えているか。」

「被災企業の成長に向けてさらなる支  
援を続けたい」と語る梅木典子さん

「インフラがかなり整備さ  
れた一方、人口減少が進む。  
その中で独自性を出して成長  
しないとけない。被災事業  
主の経営基盤がようやく整っ  
てきたので、さらなる成長に  
向け経営指導などを続けてい  
きたい」

## 被災地へ 課題見つけ共に解決

PwCコンサルティング合同  
会社常務執行役パートナー  
野口 功一さん（52）



PwCは東北復興支援を通  
じて、本当に必要な支援とは  
何なのか、東北の皆さんとど  
もに考え続けてきた。東北の

地で皆さんと課題を見つけ、  
協力しながら解決していくこ  
とは、私たちにとっても大き  
な学びの機会となっている。  
復興から持続可能な地域づく  
りへ向けて、今後も積極的な  
活動を行っていく。

者からは「事業を続けるモチベ  
ーションが上がった」という反  
応が見られる」と説明。同グル  
ープは復興支援イベントなどを  
通じた支援も行っており「今後  
も事業主に寄り添い、支援を継  
続していきたい」と力を込める。

## これまでのあゆみ

2013年12月 コンサルティング  
内に東北イノベーション推進室を  
設置

15年7月 なんでも会計相談・  
経営相談を陸前高田市でスタート



16年7月 対象市町村を拡大。  
現在は大船渡市、住田町、釜石市、  
大槌町、山田町、宮古市、岩泉町  
でも各種相談を実施



18年3月 支援先の商品を社員  
ボランティアが社内で販売するイ  
ベント「東北復興支援マルシェ」  
を開催